

(様式 1)

令和 6 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（庄内小・庄内中）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 1 小中一貫校の特色を活かした活動の充実・支援や P T A 等各種団体との連携を深め、より活発な学校支援を行う。
- 2 学校が抱える課題や必要とする支援、あるいは保護者が必要としている支援などの確認・整理を行い、保護者ボランティアや地域の人材などを活用して可能な範囲で支援を行う。
- 3 情報発信の拡充を図る。(学校の基本方針や学校活動の情報発信、その他人材発掘など)

＜評価項目 1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長先生から学校経営の基本方針についての丁寧な説明があり、特に小中一貫校としての特色を活かした活動や学校が必要とする支援について深く理解することができ、学校運営協議会の目的を達成するための方向性の確認、共通認識を持つことができた。また、学校の発展、児童生徒の成長を促すための思いや行動目標が明確にされていたためより深い熟議をすることができた。

＜評価項目 2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の必要としているテーマなどに沿って熟議し、支援活動につながるなど教育活動の充実を図ることができた。
- ・庄内学園創立 10 周年記念式典から大運動会、潮鳴祭など多くの行事が実施されたが、地域との連携や生徒児童が主体となり考え、創造する力を養う「庄内未来研究所」の拡充や、新たな取り組み（小学生のアクティブ・ダンス・フェスティバルなど）が見られた。また、新たな取り組みについては学校運営協議会での熟議、支援をすることができ、新しい教育のあり方を考えることができる良い機会となった。
- ・学校支援について、一般の住民にとって学校は敷居が高いと感じる。以前ボランティアで実施していた読み聞かせなど必要とするボランティアを保護者、地域住民に呼びかけ学校行事に参加しやすい環境を作ることも大事ではないかと思う。

＜評価項目 3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

庄内学園のホームページで協議会開催から議事録までの情報発信やさくら連絡網を活用した情報発信をすることは出来たが、ホームページなど多くの地域住民に見てもらえるように周知が必要である。今後は自治会の回覧板などを利用するなど地域住民への周知（情報発信）に加え人材の発掘（部活動の地域移行における指導者の発掘など）についての情報収集も必要であると考えます。

＜評価項目 4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取り組みの重点）

- 1 小中一貫校の特色を活かした活動の支援や P T A 等各種団体との連携を深め、教育活動の充実、拡充を図る。
- 2 学校に必要な支援を推進するため、保護者、地域住民から学校が必要とする人材発掘を進め地域との繋がりの強化、児童生徒が楽しく学ぶことができる環境の整備を行う。
- 3 学校の教育活動や学校運営協議会活動の積極的な情報発信を行い、保護者や地域住民に学校の魅力や取り組みを広く伝える。